

第62回地域農林経済学会大会のご案内

2012年6月

地域農林経済学会

第62回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。また特別シンポジウムの開催も予定しておりますので、会員の皆様はもとより、非会員の皆様もぜひご参加ください。

1. 期 日 2012年10月19日(金)～21日(日)

2. 日程および会場

2-1. 開催地：大阪経済大学

住所 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

連絡先 藤本高志 Tel 06-6328-2431 E-mail tfuji@osaka-ue.ac.jp

2-2. 地域農林経済学会大会日程

【第1日】10月19日(金) 特別シンポジウム (C館3階 C31教室)

【第2日】10月20日(土) 大会講演および大会セッション

(C館3階 C31教室ほか)

1. 挨拶 [9:30～9:45] (C31教室) (受付開始9:00)
2. 大会講演 [9:45～12:00] (C31教室)
3. 大会セッション [13:00～16:00] (D館 D24教室、D25教室、D34教室、D35教室)
4. 総会 [16:15～17:15] (C31教室)
5. 懇親会 [18:00～20:00] (E館7階 同窓会ホール)

【第3日】10月21日(日) 個別報告 (J館4階 J40～48教室)

1. 個別報告 [9:30～15:30] (J40～J48教室)
2. 個別報告優秀賞授賞式 [15:45～16:00] (J館3階 第1会議室)

【その他各種会議】

10月19日(金)

編集委員会 [16:30～18:00] (J館4階 J48教室)

理事会 [18:00～20:00] (J館3階 第1会議室)

10月20日(土)

新理事会 [17:30～18:00] (C館6階 C65会議室)

10月21日(日)

個別報告優秀賞審査委員会 [12:00～13:00] (J館3階 特別会議室)

* 大会会場の地図・交通案内等は、本文末尾をご参照ください。

2-3. 参加費用等

- ・大会参加費用：普通会員 3,000円、非会員 4,000円、学生会員・学生非会員 1,500円
- ・懇親会費：一般 4,000円、学生 3,000円

(懇親会は、20日の総会終了後に開催されますが、若手研究者をはじめ、皆様の積極的な参加を期待しています。懇親会の参加申し込みについては、下記7(3)を参照してください)

3. 特別シンポジウム「TPPと日本経済－包括的経済連携協定は何をもたらすか－」

地域農林経済学会・大阪経済大学共催 10月19日(金) [13:00~16:30]

司会 増田佳昭(滋賀県立大学)

報告1 「TPPをどうみるかーグローバル化のゆくえー」

柴山桂太(滋賀大学)

報告2 「TPPと日本の国民経済・農業－推進論批判をとおしてー」

磯田 宏(九州大学)

報告3 「米韓FTAが韓国経済にもたらしたもの」

柳 京熙(酪農学園大学)

4. 大会講演 「震災・原発事故からの復興とこれからの日本農業」

10月20日(土) [10:00~12:00]

講演1 「東日本大震災と地域農林業の復興－三陸沿岸地域の陸前高田市を事例に－」

両角和夫(東京農業大学)

講演2 「原発事故と地域農林業」

小山良太(福島大学)

5. 大会セッション

10月20日(土) [13:00~16:00]

報告者、報告テーマが変更になることがあります。詳細はホームページでご確認ください。

第1セッション：日系食品企業の海外進出とその国内外への波及効果

コーディネータ：加賀爪優(京都大学)

加賀爪優「日系食品企業の海外直接投資と産業内貿易の展望」

櫻井武司「アセアン諸国における日系企業の進出と規定要因」

鈴木宣弘「地域貿易協定および自給率への波及効果」

樋口倫生「韓国における日系食品企業の動向」

高木知英美「台湾における日系食品企業の動向」

柴田明夫「国際食料市場の変動とその展望」

第2セッション：地域農業における社会貢献型事業の展開と可能性

コーディネータ：伊庭治彦(神戸大学) 座長：北川太一(福井県立大学)

片岡美喜(高崎経済大学)「社会貢献型事業と農村コミュニティの維持・発展に関わる実践的取組」

高橋明広(中央農業研究センター)「集落営農組織における社会貢献活動が構成員の組織貢献意欲に及ぼす効果」

西山未真(千葉大学)「農村コミュニティ再編とソーシャルビジネスの展開

－高知県四万十川流域を事例として－」

今井裕作(島根県庁)「島根県における地域貢献型集落営農の推進

－地域のよろず屋としての機能と今後の可能性－」

伊庭治彦(神戸大学)「米国カリフォルニア州における小規模農場による社会貢献

－再生エネルギープロジェクトへの取り組みを事例として－」

第3セッション：「欧州における家族経営論と人材育成の社会的システム

－イギリス及びアルプス周辺地域を事例として－

コーディネータ：南石晃明（九州大学）

座長：土田志郎（東京農業大学）、飯国芳明（高知大学）

I. 家族経営の位置づけと企業経営

スイス：飯国芳明（高知大学）、南石晃明（九州大学）

イギリス：I. Whitehead（University of Plymouth）

II. 教育制度の展開と現状

ドイツ：南石晃明（九州大学）、淡路和則（名古屋大学）、飯国芳明（高知大学）

イギリス：内山智裕（三重大学）

特別セッション「地域ブランドとしての日本酒マーケティングの実践と展望

－ブランド力増強・グローバル展開・内需拡大－

日本ブランドの代表格ともいえる日本酒も、危機的な風圧にさらされ、産業の防衛とグローバル競争力の強化が期待されている。本セッションでは、日本酒のブランド力増強に取り組む酒造メーカーや日本酒愛好家を招き、ブランド強化についてのブレインストーミングを行いたい。日本酒に関心のある一般市民の参加も得て、酒造産業の将来展望を導出する絶好の時空間を創り上げたい。

コーディネータ：岸本喜樹朗（裕一）

京阪神の酒造組合の理事長、日本酒愛好家の著名人、日本酒研究者の大学教授など

6. 個別報告 10月21日（日）[9:30~15:30]

①個人・連名報告は1件につき、30分（報告20分、質疑応答10分）を予定しています。

②筆頭報告者には、会員の資格が必要*です。非会員の方には、入会関係書類を送付しますので、至急、学会事務局までお申し出ください（学会HPからのダウンロードも可能です）。また、同一筆頭報告者による報告は一報告に限りますので、ご注意ください。

*個別報告の申込期限（8月20日（月））までに、入会金と年会費の納入が必要です。

③個別報告の申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付、個別報告論文投稿等については、【別紙】の1を参照してください。特に、インターネット経由に移行しているもので、十分に注意してください。

④2010年度より、若手会員の学会個別報告への積極的参加の奨励および顕彰を目的として、個別報告を行う若手会員（2013年4月1日時点で37歳未満の会員）で、個別報告優秀賞に応募する方を対象に審査を行い、優れた報告に対して個別報告優秀賞を授与することになりました（表彰規定、審査手続きの詳細については、『農林業問題研究』第46巻1号（2010年6月号）を参照のこと・近日中に学会HPに掲載の予定）。若手会員の積極的な応募を期待します。なお、個別報告優秀賞応募の方法については、【別紙】の2を参照してください。

7. その他連絡事項

(1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約ください。

(2) 昼食について

10月19日(金)および10月20日(土)は、大学内の生協食堂が営業しております。10月21日(日)は弁当を斡旋しますので、必要な方は、10月20日(土)の12:00までに受付にてお申し込みください。また、大学周辺には食堂が多数ございますので、こちらもご利用ください(当日は「食堂マップ」を配布いたします)。

(3) 懇親会の申し込みについて

食事・飲み物類の準備の都合がございますので、懇親会への参加を希望する方は、事前にお申し込み下さいますようお願い申し上げます。申し込みは、e-mailにて、大阪経済大学・藤本高志まで下記の要領でご連絡下さい。なお、会費は当日、受付で頂戴いたします。

宛先：tfuji@osaka-ue.ac.jp

メールの件名：懇親会申し込み

メール本文：①氏名、②所属、③連絡先住所、④連絡先電話番号

(同じ所属機関で、複数名を取りまとめてお送り頂いても構いません)

申込期限：10月12日(金)

(4) 各種会議場所について

10月19日(金)は、理事会はJ館3階第1会議室、編集委員会はJ館4階J48室にて行います。10月20日(土)の新理事会はC館6階C65会議室にて行います。10月21日(日)の個別報告優秀賞審査委員会はJ館3階特別会議室にて行います。

(5) 大阪経済大学への交通手段について

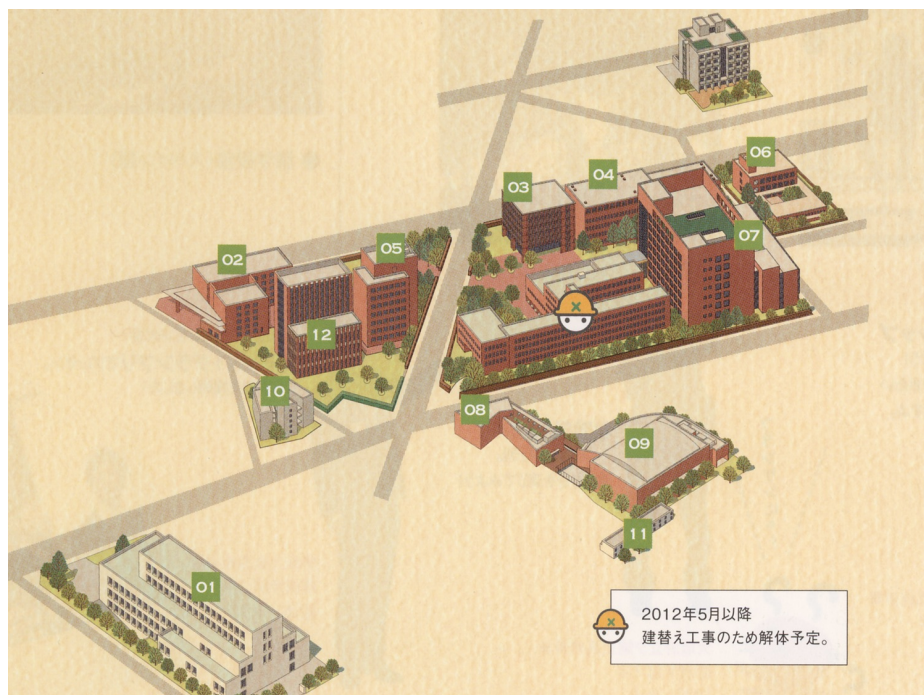
(詳しくは、<http://www.osaka-ue.ac.jp/profile/access.html> をご覧ください)

- 最寄り駅は阪急「上新庄」駅と地下鉄「瑞光四丁目」駅
阪急「上新庄」駅より大阪経済大学まで
 1. 徒歩(約15分)大阪経済大学周辺マップ参照
 2. 「上新庄」駅北口より市バス37・93系統
 3. 「上新庄」駅南口より市バス37B系統2,3.ともに【井高野車庫前】行、「大阪経大前」下車
地下鉄「瑞光四丁目」駅より大阪経済大学まで
徒歩(約2分)大阪経済大学周辺マップ参照
- 「JR新大阪」駅から阪急「上新庄」駅まで
地下鉄「新大阪」駅ー「西中島南方」駅下車 → 阪急「南方」駅ー「上新庄」駅下車
- 大阪(梅田)から
市バスをご利用の場合
井高野車庫前行「大阪経大前」下車すぐ(約29分)
阪急をご利用の場合
阪急「梅田」駅ー「上新庄」駅下車(約13分)
- 難波から 地下鉄「なんば」駅ー「今里」駅乗換ー「瑞光四丁目」駅下車
- 天王寺から 地下鉄「天王寺」駅ー「太子橋今市」駅乗換ー「瑞光四丁目」駅下車
- 京都から
阪急「河原町」駅ー「上新庄」駅下車(約40分)
JR「京都」駅ー「摂津富田」下車 → 阪急「富田」駅ー「上新庄」駅下車
- 神戸から 阪急「三宮」駅ー「十三」駅乗換ー「上新庄」駅下車

●大阪経済大学周辺マップ



●キャンパスマップ



- | | | | |
|-------|-------|-----------|------------|
| 01 A館 | 04 D館 | 07 G館・図書館 | 10 大樟ホール |
| 02 B館 | 05 E館 | 08 学生会館 | 11 南学生クラブ室 |
| 03 C館 | 06 F館 | 09 体育館 | 12 J館 |

【別 紙】

1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの

送付、個別報告論文投稿に際しての注意事項などについて

(1) 個別報告の要旨原稿の様式

- ① 要旨原稿のフォーマットは、本学会HP (<http://a-rafe.org/>) の「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」にある報告要旨様式（作成要領・見本）を参照して下さい。
- ② 要旨原稿は、ワープロで作成したファイルを、必ずPDFファイルに変換して下さい（A4サイズ、1枚）。
- ③ ファイル名は、下記の事例を参照して下さい。
例) (単独の場合) ○○大学・徳島花子.pdf
(複数の場合) ○○大学・徳島花子他.pdf
また、所属機関の書き方は、下記の事例を参照して下さい。
例) (社会人の場合) ○○大学
○○研究所
(大学院生の場合) ○○大学大学院
(学部学生の場合) ○○大学△△学部
(日本学術振興会特別研究員の場合) 学振特別研究員・○○大学

(2) 申し込み方法

- ① 個別報告の申し込みおよび要旨原稿ファイル（PDFファイル）の提出は、2010年度からインターネット経由で行うことになりました。
- ② 当該URLは、
<https://business.form-mailer.jp/fms/4367c6241790>
です。

パスワードを聞いてきますので、**20120820** と入力してください。

（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。）

なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」にも上記アドレスをリンクしていますので、そちらを利用して頂くことも出来ます。

- ③ 個別報告要旨は、当日配付する資料等には収録しておりません。個別報告要旨は学会HPにアップし、大会期間中は受付場所で閲覧できるようにしておきます。
- ④ 個別報告希望者は、**8月20日（月）23時まで**に、上記のURLアドレスを開いて、「地域農林経済学会 個別報告 申請フォーム」に必要事項を入力して下さい。また、フォームの「**IX** 個別報告要旨のファイル（PDF形式に限る）を添付して下さい。」の欄では、**参照**のボタンをマウスでクリックし、すでに作成された要旨原稿ファイル（PDFファイル）を選択して下さい。
- ⑤ 一連の操作が終わりましたら、**確認画面へ**のボタンをクリックして下さい。入力された事項が、一覧になって現れますので、入力ミスがあれば、**戻る**のボタンをクリックすれば、何度でも修正することが出来ます。
もし、ミスがなければ、**送信する**のボタンをクリックして下さい。

- ⑥ 以上の結果、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。
- ⑦ 返信メールにも入力一覧が掲載されています。もし、申請の訂正等がありましたら、ChiikiNourinKeizaiGakkai@gmail.com までご連絡ください。
- ⑧ なお、「地域農林経済学会 個別報告 申請フォーム」入力に関する質問は、電話では一切受け付けていません。
- ⑨ **筆頭報告者は、必ず、本学会の会員であることに限られます。**非会員の場合は、本学会HPの「学会入会の案内」(<http://a-rafe.org/member/member.htm>) から、入会申込書（PDF形式）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、**8月20日（月）午後5時（必着）までに**、学会事務局あてに郵送ないしファックス送信してください。さらに、入会金1000円と学会費を、学会事務局の郵便貯金口座へ、**8月20日（月）午後5時までに**、**学会事務局で振り込みが確認出来るように**、手続きを済ませておいて下さい。
- ⑩ **大会セッションの報告者で、個別報告論文に投稿を希望する方は、個別報告者と同様の手続きを行って頂きます。**

(3) 個別報告・大会セッションで使用するプレゼンテーション用ファイルの送付について

- 1) 個別報告および大会セッションで、パワーポイントあるいはPDFファイルを使用する場合
 - ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクターとPCで報告していただきます。
 - ② PCのOSは、Windows 7、パワーポイント用ソフトは、オフィス 2010、PDF用ソフトは、Adobe Reader v. 10.1.2 です。送付される前に、上記のOS、ソフトで使用可能か、必ずご確認のうえ、お送り下さい。Windows 7以外をご利用の方は特にOSの違いにご留意ください。

なお、上記のOS+ソフトをご使用でない方は、変換ミス等で使用できない等のトラブルに備えて、紙媒体も持参されることをお勧めします。事務局では、PCへの入力が不可能な場合でも、変換等のお手伝いはしません。
 - ③ パワーポイント、PDFファイルのプレゼンテーション用原稿は、当日の混乱を避けるため、**10月15日（月）23時までに、インターネット経由で提出してください。（時間厳守：事務多用のため、締切以降は受け付けません）。**
 - ④ 当該URLは、
<https://business.form-mailer.jp/fms/4199fda013904>
です。

パスワードを聞いてきますので、**20121015** と入力してください。

(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。)

なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。
 - ⑤ 会場でのPC使用の便宜のため、パワーポイント、PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。

例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合

パワーポイントの事例

(単独の場合) 特 0101・徳島花子.pptx

(複数の場合) 特 0101・徳島花子他.pptx

報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合

(単独の場合) 0306・徳島花子.pptx

(複数の場合) 0306・徳島花子他.pptx

- ⑥ 大会セッション報告については、コーディネーターが一括して送ってください。
パワーポイント、PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。

例) 報告者が、第1セッションの第3報告の場合

パワーポイントの事例

(単独の場合) S0103・徳島花子.pptx

(複数の場合) S0103・徳島花子他.pptx

- ⑦ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。

- 2) 個別報告および大会セッションで紙媒体を用いる場合

従来通り、聴講者数分の部数を用意して、当日報告会場に持参してください(事務局では印刷の斡旋はしません)。

- 3) OHP は利用できません。

(4) 個別報告論文として投稿を希望する方へ

- ① 「地域農林経済学会大会個別報告論文投稿要領」(以下、個別報告論文投稿要領と略す)の2にしたがって、**10月10日(水)(消印有効)までに、「大会前提出原稿」を個別報告座長宛てに、1部郵送して下さい。**個別報告座長については、学会HPで確認してください(9月中頃掲載予定)。

- ② **併せて、「大会前提出原稿」は、10月10日(水)23時まで、インターネット経由で提出して下さい(PDFファイルに変換のこと)。**

- ③ 当該URLは、

<https://business.form-mailer.jp/fms/112d2d7811700>

です。

パスワードを聞いてきますので、**20121010** と入力してください。

(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。)

なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。

- ④ PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。

例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合

(単独の場合) 特 0101・徳島花子.pdf

(複数の場合) 特 0101・徳島花子他.pdf

報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合

(単独の場合) 0306・徳島花子.pdf

(複数の場合) 0306・徳島花子他.pdf

- ⑤ 大会セッション報告については、個別報告論文に投稿を希望する報告者が、ファイルだけをインターネット経由で送ってください。①のような紙媒体での提出の必要はありません。

例) 報告者が、第1セッションの第3報告の場合

(単独の場合) S0103・徳島花子.pdf

(複数の場合) S0103・徳島花子他.pdf

- ⑥ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。
- ⑦ 個別報告終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については、大会前に学会事務局から投稿案内が郵送される予定です。個別報告論文の書き方・提出方法等については、「個別報告論文投稿要領」の3～6および11を参照してください。
- ⑧ 連名報告での報告者の順位と、個別報告論文での執筆者の順位は、同じでなければなりませんので、ご注意ください。
- ⑨ 詳しくは、学会誌巻末または学会ホームページの「個別報告論文投稿要領」を参照してください。

<http://a-rafe.org/journal/kobetuhokoku%20guide.htm>

本学会のHP - 「学会誌」 - 「個別報告論文投稿要領」

2. 個別報告優秀賞の応募方法について

- ① 個別報告優秀賞は、個別報告の中から優秀な論文を選考するものですから、報告は通常の個別報告と同様、個別報告会場で行っていただきます。
- ② したがって、個別報告優秀賞に応募される方は、まず、個別報告に申し込んでください。申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付方法、「大会前提出原稿」の送付方法等は、一般の個別報告に申し込まれる方と、まったく同じです（【別紙】1.（4）参照）。

なお、「大会前提出原稿」の提出が必須です。「大会前提出原稿」の提出がない場合には、一般報告扱いになりますので、ご注意下さい。

- ③ そのうえで、個別報告を申し込まれる際に、「地域農林経済学会 個別報告 申請フォーム」の質問項目のうち、【Ⅷ 個別報告優秀賞への応募を希望しますか？】、【「はい」と希望した場合には、2013年4月1日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】、【今回の応募は、研究論文等として投稿中の研究ではありませんね？】に、必要事項を記入し送信してください。なお、個別報告優秀賞への応募できるのは、**2013年4月1日時点での筆頭報告者の年齢が37歳未満の場合**です。また、すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。ご注意下さい。
- ④ 個別報告優秀賞対象論文が、2010、2011年度において、優秀賞選考委員会から編集委員会に対して研究論文として推薦することになっていましたが、今年度からこの制度は廃止されることになりました。

3. 個別報告、個別報告優秀賞に関する書類の送付先、問い合わせ先など。

- (1) 個別報告の「申し込み」、個別報告優秀賞審査対象論文の「応募」に関する問い合わせ先

企画担当理事（岡山大学・横溝 功：agsys@s.okayama-u.ac.jp）

*学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。

（２）個別報告「大会前提出原稿」に関する問い合わせ先

編集委員長（名古屋大学 荒山裕行：arayama@soec.nagoya-u.ac.jp）まで。

*学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。